

地域再生計画

1. 地域再生計画の名称

火山との共生をめざす地域再生計画

2. 地域再生計画の作成主体の名称

群馬県、群馬郡倉淵村、吾妻郡長野原町、吾妻郡嬭恋村

3. 地域再生計画の区域

群馬県群馬郡倉淵村並びに吾妻郡長野原町及び嬭恋村の全域

4. 地域再生計画の目標

本地域は、群馬県の北西部に位置し、上信越高原国立公園に指定されるなど、豊かな自然や温泉等の観光資源に恵まれている。また当地域は林野率が高く、倉淵村 86.3%、長野原町 72.5%、嬭恋村 76.9%で、3 町村の計では 77.9%となり、県全体の林野率 67%を大きく上回っている。更にキャベツを始めとする高原野菜の生産が盛んで、特に嬭恋村産のキャベツは全国シェアの 4 割弱を占めている。今後も特産品のキャベツの品質や鮮度を確保していくため、集出荷施設・予冷施設及び用水施設整備を進め、多様化する需要に応えていく。このように本地域は、観光・農林業を基幹産業とした農山間地域である。

その一方で浅間火山直近の地域でもあり、平成 16 年 9 月 1 日には浅間山において中規模な噴火が発生し、家屋や農産物が噴石・降灰の被害を受けた。その後も火山活動が活発で、本格的な観光シーズンを目前にして、宿泊客のキャンセルが相次ぐなどの経済的ダメージも受けた。

このような状況下で、観光客の入り込み回復、火山防災上の対応という意味においても、避難路的な道路整備が必要とされており、幹線道路だけでなく、それに接続する末端の道路を整備する必要がある。これにより効率的な移動を促進し、地域住民をはじめ観光客の安全で快適な生活を確保していくとともに、従来の中核産業である農業にあっては、農産物の物流の効率化が、林業にあっては森林へのアクセス条件が改善され、間伐などの森林整備の促進効果が期待できる。また地元町村では防災無線の整備を進めており、主な集落は整備を完了させたが、別荘地の整備が遅れている状況から、今後も整備・拡充を図り緊急事態に備えていく。

これらの基盤整備により観光客の誘致活動及び宣伝効果を向上させ、地域経済を活性化し、農林業が振興する魅力ある地域づくり、「火山との共生」をめざす。

(目標 1) 観光客の入り込み増加 (現在の 3605 千人から 10%増加)

(目標 2) 森林整備面積の拡大 (現在の 299ha から 10%拡大)

5. 目標を達成するために行う事業

(5-1) 全体の概要

嬭恋村大平地内の「村道長井大平線(道路認定：昭和 61 年 3 月 11 日)」及び長野原町大

屋原地内の「町道 10 - 42 号線(道路認定：昭和 57 年 3 月 31 日)」を整備することにより、幹線道路へのアクセス改善を図る。また農耕車両の乗り入れも多く、農業振興・農産物の物流効率化を図る。

倉渕村岩氷地内の「林道上野元三沢線(西毛地域森林計画：平成 17 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日登載)」の舗装を行うことにより、森林へのアクセス条件及び林業従事者の就業環境の改善を図り、間伐等の森林整備を促す。

(5 - 2) 法第四章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業

[施設の種類(事業区域) 実施主体]

- ・町村道(長野原町、孺恋村) 長野原町、孺恋村
- ・林道(倉渕村) 倉渕村

[事業期間]

- ・町村道(平成 17～21 年度) 林道(平成 17～18 年度)

[整備量及び事業費]

- ・町村道 1.1km、林道 1.7km
- ・総事業費 6 億 5 千 2 百万円
町村道 5 億 9 千 5 百万円(うち交付金 2 億 9 千 7 百 5 十万円)
林道 5 千 7 百万円(うち交付金 2 千 8 百 5 十万円)

(5 - 3) その他の事業

緊急事態に備えるため防災無線を整備する。

また、特産品のキャベツの品質や鮮度を確保するため、野菜集出荷施設、野菜予冷施設、営農用水施設を整備する。

6. 計画期間

平成 17 年度～21 年度

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4 に示す数値目標に照らし状況を調査、評価し公表する。また、必要に応じて事業内容の見直しを図るために、県及び町村、関係機関と協力し、達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行うこととする。

8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

特になし。